

同志社大学

2014年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2015年03月01日提出

所 属	職 名	氏 名
高等研	特定任用研究員 (助教)	ダニシマズ イディリス
研 究 題 目	現代トルコのムスリム市民社会運動による平和構築の理念と実践	
研 究 成 果 の 概 要	<p>2014年度に以下のような成果があった。</p> <p>1) ダニシマズ・イディリス「イスラーム世界と教育—トルコの奉仕運動のグローバル的教育支援の理念と実践」『比較教育学研究』50号(2005年)、222 - 233頁(2015年3月中旬刊行予定)</p> <p>この論文は、2013年7月11日(金)～7月13日(日)に名古屋大学 東山キャンパスで開催された日本比較教育学会第50回大会において発表したものであるが、大会委員会によって紀要に採用が決定されたものである。その中では、研究者の研究対象であるトルコの市民社会運動の「奉仕運動(Hizmet)」によるグローバルな教育支援の理念と実践を取り上げ、教育を通して如何に世界平和に貢献されているかという大きな課題の一局面について考察した。</p> <p>2) Idiris Danismaz, "An Analytic Framework of the Turkish Model", <i>The Turkish Model: Reality and Applicability</i> (ed. Idiris Danismaz), Doshisha University, pp. 9-29. (2015年3月中旬印刷予定)</p> <p>申請者が編集した本著作においては、中東において平和なシステムと社会作りのモデルとして最近注目を浴びていた「トルコモデル」というイメージの成立過程に、トルコの穏健な市民社会運動の経済的な活動が如何に貢献したかについて述べた。</p> <p>3) İdiris Danismaz, "Türk Japon Sivil Toplum Kuruluşlarının Orta Doğu Barışına Katkısı", <i>Orta Doğu Barışı İçin Türk Japon İşbirliği</i> (eds. Masanori Naito, İdiris Danışmaz, Bahadır Pehlivantürk, Mustafa Serdar Palabıyık), Doshisha University. 2015. (トルコ語、2015年3月中旬印刷予定)</p> <p>本著作とその中の一章を通して、トルコと日本の市民社会運動の協力が中東平和に貢献できるためにどのような方法と具体的な協力分野について探求した。</p> <p>4) その他、同志社大学 CISMOR の研究会において、「道徳的価値から社会的価値へ—トルコにおける市民社会運動の人的支援活動—」をテーマに発表し、信仰を基盤とする市民社会運動のイスラームの道徳的な行為を経済的な価値に変える仕組みについて論じた。また、その中で、市民社会運動とトルコの政治社会の関係などトルコ社会がかかえている課題の全体像についても言及した。</p> <p>来年度は、ムスリム社会の市民社会運動の歴史的な思想的な背景に関する調査を続ける予定である。</p>	